

パターンⅡ【仕訳問題②】

下記の一連の取引について仕訳しなさい。

①当月、製品用の買入部品 18,000 個（購入代価 100 円/個）を掛けて購入した。なお、購入に際しては、購入代価の 10%を材料副費として予定配賦している。

（仕 訳）

--	--	--	--

②当月の材料副費の実際発生額は 176,000 円であったので、①の材料副費予定配賦額との差額を材料副費差異勘定に振り替える。

（仕 訳）

--	--	--	--

③当月の労務費の消費額を計上する。直接工の作業時間報告書によれば、直接作業時間は 2,500 時間、間接作業時間は 180 時間であった。当工場において適用される直接工の予定賃率は 1 時間当たり 1,300 円である。また、間接工については、前月賃金未払高 100,000 円、当月賃金支払高 380,000 円、当月賃金未払高 120,000 円であった。

（仕 訳）

--	--	--	--

④当月の直接作業時間にもとづき、予定配賦率を適用して製造間接費を製造指図書に配賦する。なお、当社は変動予算を設定しており、年間の変動製造間接費予算額は 12,960,000 円、固定製造間接費予算額は 19,440,000 円であり、配賦基準である年間の総直接作業時間は 32,400 時間を予定している。

（仕 訳）

--	--	--	--

⑤当月、実際に発生した製造間接費は 2,675,000 円であったので、④の予定配賦額との差額を予算差異勘定と、操業度差異勘定に振り替える。

(仕 訳)

--	--	--	--

参考メモ【原価分析：シュラッター図】

